

「ハイレベル政策対話：アフリカ開発ダイナミクス 2019 に向けて：生産構造転換に向けた政策」における阿部外務副大臣挨拶
(2019年8月29日(木)18:00～19:30 於：パシフィコ横浜)

- 御列席の大統領、閣僚、国際機関代表の皆様。
- この度、AU 委員会と OECD 開発センターの共催の下、アフリカにおける企業生産力拡大のための政策につき議論を行う本ハイレベル政策対話にお招きいただき、誠に光栄に思います。また、「AU アジェンダ 2063」に向けて政策提言を行う年次報告書「アフリカ開発ダイナミクス 2019」が近日発表されることを心から歓迎するとともに、関係者のご尽力に敬意を表します。
- アフリカは21世紀最大のフロンティアです。5月にはアフリカ大陸自由貿易圏協定が発効し、約13億人の共通市場が誕生しつつあるほか、デジタル革命・イノベーションも進展しています。アフリカの発展にあたって民間企業の果たす役割は極めて大きく、TICADも回を追うごとに、民間セクターの関与と協力が大きくなってきています。今回のTICAD7において、「イノベーションと民間セクターの関与を通じた経済構造転換の促進及びビジネス環境の改善」が主要なテーマの一つとして議論されているのも、アフリカで起きている質・量両面でのダイナミックな変化を受けてのことです。
- こうした背景の下、今年の報告書が、アフリカの生産構造転換に焦点を当て、企業クラスターの発展、生産ネットワークの強化、輸出促進のための手続簡素化及び連結性・インフラ促進について提言しているのは、誠に時宜を得たものです。今回の報告書の提言は、我が国のこれまでのアフリカ支援策とも軌を一にしています。

- 我が国は、前回の TICAD6において安倍総理が提唱した「自由で開かれたインド太平洋」構想の下、①質の高いインフラの促進を含む「物理的連結性」、②人材育成・技術移転による「人的連結性」、③通関円滑化等による「制度的連結性」の向上を進めてきました。例えば、ケニアのモンバサ港開発においては、コンテナ貨物取扱量を2倍以上に増やすのみならず、周辺道路と経済特区の開発を通じ、内陸部も含む東アフリカ北部回廊の総合開発を行うとともに、約2,000人のケニア人を雇用し技術移転を行いました。我が国としては、今後とも、「質の高いインフラ投資に関する G20 原則」に基づき、国際スタンダードに基づく質の高いインフラ投資を推進していく考えです。
- 連結性強化にあたっては、民間セクターとの一層の連携が不可欠です。本年4月、TICAD7官民円卓会議の提言を受け、安倍総理は、官民連携を通じ、人材育成や技術移転等、アフリカの発展につながる日本らしい取組を促進していく旨表明し、6月にアフリカビジネス協議会が設立されました。「アジアの成功をアフリカに」もたらしべく、日・アフリカ間の貿易・投資及びビジネス関係をさらに促進していく考えです。
- 今回の TICAD7での一連の議論を通じ、民間セクターの育成を通じた生産構造転換、質の高いインフラを通じた連結性強化が一層進み、包摂的かつ強靱で持続可能なアフリカの発展につながることを祈念しつつ、私の挨拶とさせていただきます。御清聴、ありがとうございました。

(了)